

特別養護老人ホーム 銚田サンハウス便り



HOKOTA
SUNHOUSE

第1号

平成26年5月20日発行

発行元
特別養護老人ホーム
銚田サンハウス
〒311-1534
茨城県銚田市鳥栖2100-9
TEL0291-34-3050
FAX0291-36-3051
bujinkai_hokota@alpha.ocn.ne.jp
<http://hyakurisunhouse.com/>

理事長

鬼澤 喜代

私達はこの世の中で一人だけでは生きられず互いに助け合って社会生活を営んでいます。そしてそれぞれの立場や職業を持ち様々な形で社会に貢献し日々の生活を暮らしています。人の能力は一人一人異なり、自分に合った生き方が世のため人のために役立つことが出来るならば素晴らしい生き方ではないでしょうか。その為に自分に合った生き方を見つけ貫き通すことは大変難しい事と思えます。人にはそれぞれ考え方の違いがあり、親・子・先輩・後輩・上司・部下・友人などの関わりの中で、様々な言動に接しながらそれをよく吟味して受入れ、時には影響され成長の糧とする。しかし、自分の軸をしっかりと保たなければなりません。世の中に貢献しようとする生き方に確信を持ち続けて力強く生きていきたいと、自分に言い聞かせています。

銚田サンハウスが皆様の生活に溶け込めることを願っています。



食事中！



地域の小学生との交流



クリスマスツリーに飾りつけ



誕生日のプレゼント



みんなとお話・お茶会中



子供たちによるハンドベル演奏

れんげ・すみれ

ユニット内の主な活動

- ・おやつ作り
 - ・ホットケーキ
 - ・かき氷
 - ・ミックスジュース
 - ・バナナケーキ
- ・お花見
- ・季節の貼り絵
- ・誕生会
- ・散歩
- ・洗濯物たたみ
- ・茶碗洗い
- ・食事の盛り付け



桜をバックに記念撮影



クリスマスに作った
クリスマスケーキ

すみれ・れんげ ユニット



誕生日のお祝い



百里サンハウス納涼大会へ参加



百里サンハウスクリスマス会
へ参加



百里サンハウス運動会へ参加



桜を見ながら外でお茶会



誕生日のプレゼント

今年の5月より、れんげ・すみれユニットに入居者が入り稼働いたしました。れんげ・すみれユニットのユニットリーダーを務めさせていただき、ます高柳典史と言います。どうぞよろしくお願いいたします。務めさせていただきます。から1年が経過し、家庭をモチーフにいかにご本人らしい生活が送れるか日々スタッフと話し合いを持つようにしています。最近スタッフも日常のケアに対しコツをつかみ、少しずつですが余裕ができるようになりました。日々のチャットした時間の楽しみや生活にメリハリを持っていただきたく、季節にそった行事やおやつ作りなどをスタッフと提案や企画をしようようにしています。れんげ・すみれユニット職員がこれからも目標や目的を共有し温かい家庭、笑いのある明るい雰囲気のあるユニットを目指していきたくと考えています。頑張っていくますが、自分たちでは気が付かないご利用者の悩みや要望、ご迷惑をおかけしてしまっていることが沢山あると思います。遠慮なく話していただきたいと思います。これからも、もっと身近な存在になれるよう努めていきますのでよろしくお願いいたします。

ユニットリーダー 高柳典史



慰問に来てくれました



一緒におやつ作り



誕生日プレゼント



余暇時間の様子



子供とのふれあい



あざみ・やまぶき
ユニット内の主な活動

- ・おやつ・食事作り
ホットケーキ
フルーツポンチ
焼き魚
- ・散歩
- ・デイサービス体操やカラオケへの参加
- ・紙芝居
- ・季節の塗り絵
- ・誕生会
- ・外食
- ・買い物
- ・百里サンハウスへの行事の参加

やまぶき・ユニット



消防避難訓練



納涼大会への参加



外出に行きました



これは作り物の犬です



花見で団子



皆さんとツリーの飾りつけ



鹿嶋神宮へお参り



暑い日はかき氷



やまぶきユニットでは天気の良い日は外へ散歩に行ったり最近では季節による塗り絵などを初め、季節を感じてもらい取り組みをしています。なるべく室内だけの感覚にならないよう外の風を感じて頂くように務めています。今後はスタッフだけにならないよう一緒に作って一緒に食べる、一緒に作品を作り上げるなど、入居者と共同し楽しめる時間を考えて取り組んでいきます。

リーダー 前島泰我

あざみユニットではリハビリや身体を動かすことに意欲的に参加していただいています。また、個々の時間を大切にしてお過ごし頂いています。それぞれの方々の自分の時間や生活を大切にすると同時に皆さんで楽しめることもあるユニット作りに入力を入れていきたくいと考えています。入居者の皆さんの希望を叶えてあげられるユニットになるようご家族の協力を得ながら取り組んでいきます。

ユニットリーダー 飯島泰子



今年は家庭菜園をはじめました。



百里サンハウスへお花見に行きました。



やまゆり・すずらん
ユニット内の主な活動

- ・家庭菜園
- ・室内ボーリング
- ・トランプ
- ・散歩
- ・洗濯たたみ、洗濯干し
- ・バーベキュー
- ・紙芝居
- ・足浴
- ・百里サンハウスへの行事参加
- ・おやつ作り

- 牛乳寒天 いもきんとん
- フルーチェ かき氷
- いも天ぷら
- パウンドケーキ
- 大学いも
- スイートポテト



毎食目の前で盛り付けしています。



やまゆり・すずらん ユニット



ゆっくり楽しめる時間を考えています。



端午の節句会にて



正月の書初め



誕生日プレゼント



ひな祭りの記念撮影



（やまゆりユニット）
皆さんの暮らしのサポートを支援していく中で「こう暮らしたい」という言葉をまず第一に考えている所です。食に関してただ提供しているだけでなく毎月2回個々に調査し、個々に食べたい物が食べられるよう努めています。施設で安心して暮らせていてもやはり皆さんご家族の面会を楽しみにしています。どうぞ気軽に立ち寄りいただきます。ユニットリーダー小沼芳治

（すずらんユニット）
皆さんに日常生活を快適に過ごしていただく為に毎日の清掃・整理整頓に力を入れています。日々の楽しみについては、普段室内で過ごすことが多いので本年度は、家庭菜園散歩などの野外活動を多く取り入れるようにしました。日々の生活の中で変化を持って楽しく暮らせるよう企画していきます。

やまゆり同様面会を楽しみにされています。この季刊誌を含め面会時にも普段の様子やご家族と一緒に生活について話し合ってください。越々と思えますのでどうぞお越しくください。

ユニットリーダー 森田敏則

★ 学生が体験学習にきました。



★ サンタからのプレゼント



★ 100歳になりました。



★ 帽子が似合い記念撮影



★ 皆さんでツリーの飾りつけ



★ クリスマスプレゼント

デイサービスの普段の活動

- ・レクリエーション
 - ビーチボール投げ
 - カラオケ
 - 合唱
 - 折り紙折り
 - 塗り絵
 - トランプ
 - 脳トレゲーム
 - 散歩
- ・リハビリ
 - 階段昇降歩行
 - エアロバイク
 - 平行棒
 - 棒体操
 - 発声・口腔体操
- ・入浴
 - 一般浴
 - リフト浴
 - 機械浴



★ 七夕の飾りつけ



デイサービス



花壇の手入れをしてくれます



余暇時間を利用して



お昼ごはんの様子



皆さんとカラオケ大会



皆さんと体操の様子です



器具を使ったりハビリの様子



ご利用者が気をつかうことなく
楽しく安心してできるデイサービス
です。相談員 真家将央

楽しく笑顔で過ごせる場所です。
介護職 中根明菜

元気にリハビリを行い身体のリ
フレッシュをしましょう。
介護職 鬼澤敦子

折り紙をして塗り絵を楽しんで
います。看護職 久野とよ子

スタッフもやさしく楽しい所
です。介護職 高吉亮一

毎日皆さんとびぎりの笑顔の
デイサービスです。
介護職 瀧田真知子

家庭的な雰囲気で温か味のある
デイサービスです。
介護職 磯山悦雄

リハビリに参加され頑張って頂
けるよう支援します。
介護職 安重直樹

憩いの場で楽しく笑顔のある環
境で健康管理に努めています。
看護職 島山洋子



年2回開催している
家族介護教室



認知症ケアの第一人者
長谷川和夫氏を招いた
認知症ケア研修会



水戸信用金庫様より
車椅子を頂きました



銚田市花壇コンクールに出展
佳作



銚田市民生委員様
見学



銚田サンハウス開設1年目に
理事長と職員一同で記念撮影

- H25施設の主な行事・活動**
- ・消防署立ち合い消防訓練
 - ・大和田小学校慰問
 - ・行方市美鈴会慰問
 - ・銚田市花壇コンクール出展
 - ・認知症ケア研修会
 - ・銚田市民生委員見学
 - ・旭中学校職場体験
 - ・巴第一小学校慰問
 - ・家族介護教室開催
 - ・銚田北中学校職場体験
 - ・舟木小学校慰問
 - ・北浦年金友の会慰問
 - ・認知症介護実習生受け入れ
 - ・行方市カラオケ親睦会慰問

ご利用者や地域の方々を支えられようやく落ち着てまいりました。これまで「連絡報告相談」を大切に皆様と連携を図り信頼関係作りを努めてきました。ご家族が施設を訪れました。面会や外出していただける機会が増えたよう感じます。また、面会時に色々な差し入れを持ってきてくださり「食べたい物を自由に食べられる。持ち込める」ことはご利用者にとって施設で生活する上で生きがいにもなっているようです。家庭の暮らしの継続は誰もが望む事であり、その為にはご家族の協力・理解・共有が必要不可欠であります。ご要望に添えていけるよう努めていきますので、何卒宜しくお願いいたします。

生活相談員 小沼和実

平成25年度 社会福祉法人武仁会 決算報告

貸借対照表(総括表)
平成26年3月31日現在

勘定科目	金額	勘定科目	金額
資産の部		負債の部	
流動資産	327,289,712	流動負債	30,026,470
固定資産	2,242,285,589	固定負債	14,197,400
基本財産	2,013,708,291	負債の部合計	44,223,870
その他の固定資産	228,577,298	純資産の部	
		基本金	483,532,057
		国庫補助金特別積立金	593,557,079
		その他の積立金	0
		次期繰越活動収支差額	1,448,262,295
		(うち当期活動増減差額)	38,665,432
		純資産の部合計	2,525,351,431
資産の部合計	2,569,575,301	負債及び純資産の部合計	2,569,575,301

ご協力をお願いいたします。平成二十五年度法人の決算報告書をお知らせいたします。

当法人の運営につきましては、日頃より皆様方のご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。平成二十五年度法人の決算報告書をお知らせいたします。

資金収支計算書

(自)平成25年4月1日～(至)平成26年3月31日

勘定科目	金額
収入	
介護保険事業収入	767,166,050
経常経費寄附金収入	30,000
受取利息配当金収入	19,785
その他の収入	1,565,243
事業活動収入計①	768,781,078
支出	
人件費支出	383,188,210
事業費支出	152,765,172
事務費支出	98,740,388
その他の支出	1,453,399
事業活動支出計②	636,147,169
事業活動資金収支差額③(①-②)	132,633,909
施設整備等に よる収支	
収入	
施設整備等補助金収入	0
施設整備等収入計④	0
固定資産取得支出	14,535,465
施設整備等支出計⑤	14,535,465
施設整備等資金収支差額⑥(④-⑤)	△ 14,535,465
その他の活動による 収支	
積立預金取崩収入	129,760
その他の活動による収入	745,224
その他の活動収入計⑦	874,984
積立資産支出	1,125,160
その他の活動による支出	0
その他の活動支出計⑧	1,125,160
その他活動資金収支差額⑨(⑦-⑧)	△ 250,176
予備費支出⑩	
当期資金収支差額合計⑪(③+⑥+⑨-⑩)	117,848,268
前期末支払資金残高⑫	179,414,974
当期末支払資金残高⑬(⑪+⑫)	297,263,242

事業活動計算書

(自)平成25年4月1日～(至)平成26年3月31日

勘定科目	当年度決算
収入	
介護保険事業収益	767,166,050
経常経費寄附金収益	30,000
その他の収益	93,240
サービス活動収益計①	767,289,290
費用	
人件費	384,183,610
事業費	152,765,172
事務費	98,740,388
減価償却費	138,856,725
△国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 45,883,648
その他の費用	93,240
サービス活動費用計②	728,755,487
サービス活動増減差額③(①-②)	38,533,803
受取利息配当金収益	19,785
その他のサービス活動外収益	1,565,243
サービス活動外収益計④	1,585,028
その他のサービス活動外費用	1,453,399
サービス活動外費用計⑤	1,453,399
サービス活動外増減差額⑥(④-⑤)	131,629
経常増減差額⑦(③+⑥)	38,665,432
特別増減の部	
収入	
施設整備等補助金収益	
固定資産売却益	
その他の特別収益	
特別収益計⑧	0
支出	
固定資産売却損・処分損	
△国庫補助金等特別積立金取崩額	
国庫補助金等特別積立金積立額	
その他の特別損失	0
特別支出計⑨	0
特別増減差額⑩(⑧-⑨)	0
当期活動増減差額⑪(⑦+⑩)	38,665,432
前期繰越活動増減差額⑫	1,409,596,863
当期繰越活動増減差額⑬(⑪+⑫)	1,448,262,295
繰越活動増減の部	
基本金取崩額⑭	0
その他の積立金取崩額⑮	0
その他の積立金積立額⑯	0
次期繰越活動増減差額⑰(⑬+⑭+⑮-⑯)	1,448,262,295



特別養護老人ホーム

鉾田サンハウス

鉾田サンハウスをご利用いただきありがとうございます。当施設は平成二十四年十二月二十九日に開設し、早くも一年半が経ちました。ご利用者の皆様には大変ご不便やご迷惑をおかけしながらも、日頃から温かいご支援とご協力をいただいております。まだまだ未熟であり至らないことばかりですが、職員一同努力を積み重ね、入居してよかったと感じて頂ける施設になるよう、末永くご指導ご愛情を賜ります様どうぞ宜しくお願い申し上げます。

さて、これまで日々のご利用者の様子などは面会の時で見られる機会がありませんでした。普段の生活の様子や表情、施設の活動について知っていただきたく季刊誌を作りました。すべてのご利用者写真を載せることができず申し訳ありません。今後も施設での生活の様子をお伝えできるように季刊誌の発行に取り組んでいきたいと思っております。内容について何か気になることがあれば遠慮なくご連絡ください。愛読していただきますようお願い申し上げます。

施設長 永木 一宏